

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	若者のための応援環境づくりの推進						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,094	千円	1,725	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。そこで、若者の自立を支援するため、若者向けのホームページの運営や「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の運営、また、ユースアドバイザー養成講習会を開催するなど、応援環境づくりを推進します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	若者向けホームページの運営 北九州市子ども・若者支援地域協議会の運営 ユースアドバイザー養成講習会の開催						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】
	若者向けホームページへのアクセス件数の増加		16,048 件	15,600 件	12,874 件	82.5 %	大変順調
	インターネット等により、若者に有益な情報(就業支援等の各種施策、各種相談窓口、市の魅力、お出かけ情報等)やそれぞれの専門機関の情報等を効果的かつタイムリーに発信しています。 (最終目標と最終年度)						
	ユースアドバイザー養成講習会の参加者数		20 名	25 名	28 名	112.0 %	順調 やや遅れ 遅れ
若者の自立支援に対応する専門的な相談員「ユースアドバイザー」を養成するため、研修・養成プログラムに基づき、「ユースアドバイザー養成講習会」を開催しています。その参加者数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	若者向けホームページには、平成23年度は12,874件のアクセスがありました。今後も内容の充実に努めるとともに、双方向の情報発信サイトを目指します。また、北九州市子ども・若者支援地域協議会の運営(代表者会議:1回開催、実務者会議:11回開催)やユースアドバイザー養成講習会の開催(28名参加)を通じて、子ども・若者支援のための着実なネットワークづくりを行っています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ホームページソフトウェアをネットワーク経由のサービス利用型(SaaS型)とし、開発コスト及び運営コストを低減しています。また、地域協議会とユースアドバイザー養成講習会については、内閣府のモデル事業を活用し、市費負担の軽減を図っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
北九州市若者応援サイト「YELL」を充実しながら運営を行います。
「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の着実な運営、また「ユースアドバイザー養成講習会」を開催し、若者の応援環境づくりを推進します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	子ども・若者応援センター「YELL」の運営						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		21,022	千円	23,200	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。 そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口「子ども・若者応援センター「YELL」」を開設し、自立を支援しています。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	子ども・若者応援センターの運営						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	来所・電話相談件数		791 (10-3月) 件	-	2,381 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	悩みや課題を抱える子どもや若者、その保護者等を適切にサポートする活動指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)						
						順調	順調
(最終目標と最終年度)					やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	開設以来多くの方々にご利用いただき、悩みや課題を抱える子どもや若者とその家族等を対象に、総合的にサポートする拠点として支持されています。平成23年度は、延べ相談件数が2,381件(来所1,120件、電話1,261件)、その内来所相談実人数は160件となっています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	運営業務を社会福祉法人へ委託し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>継続的に悩みや課題を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)して行きます。</p> <p>またこれまでの相談事業に加え、コーディネーターを中心に、若者の自立に向けた「次への一歩」に繋がる自立支援メニューの提供を行います。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「ひきこもり地域支援センター」の運営						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		10,500	千円	12,172	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	ひきこもりの問題を抱えた当事者や家族等の電話相談や来所相談、訪問支援、フリースペースなどを特定非営利活動法人へ委託して実施することで、ひきこもり当事者が社会に参加し、いきいきと自分らしく暮らせることを目指します。			活動実績 活動実績は下記のとおりです。
活動計画	引き続き、来所相談、電話相談、訪問相談、フリースペースを実施し、ひきこもり当事者・家族の支援を続けていきます。				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	ひきこもりの当事者、家族からの相談延べ件数	891 件		1,133 件	大変順調
	来所相談、電話相談、訪問支援を行うことで、ひきこもりの当事者が自分らしく暮らせることにつながります。 （最終目標と最終年度）平成26年度 1,000件				
	ひきこもりの当事者、家族からの相談実人数	244 人		258 人	順調 やや遅れ 遅れ
来所相談、電話相談、訪問支援を行うことで、ひきこもりの当事者が自分らしく暮らせることにつながります。 （最終目標と最終年度）					

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	ひきこもりの当事者、家族からの相談延べ件数、相談実人数共に毎年増加しています。ひきこもり状態から就労支援を行えるようになるなど、成功事例も出てきており、事業の効果は高いと言えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ひきこもりの当事者及び家族等への支援を主体とする特定非営利活動法人へ事業委託しているため、法人がこれまで築いてきたひきこもりの当事者及び家族等への支援ネットワークを活用することができ、経済性・効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
引き続き、利用者のニーズに沿った事業を継続実施します。 平成23年度に引き続き、来所相談・電話相談・訪問支援・フリースペースを実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	若年者のための消費者被害防止出張講座							掲載ページ	
								120	
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		159	千円	312	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	消費生活センター

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	若年者が巻き込まれる消費者トラブルが後を絶たないため、高校生、大学生、新入社員等に対して、出張講座を実施することで消費者被害の未然防止を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	若年者の消費者被害の未然防止に向けた積極的な取り組みの推進							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	若年者のための出張講座実施回数		24 回	30 回	18 回	60.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	若年者が消費者啓発を受ける機会の目安とするものです。 （最終目標と最終年度）平成26年度に年間30回実施				985 人			
	若年者のための出張講座受講者数		3,074 人	900 人				
若年者が消費者啓発を受ける規模の目安とするものです。 （最終目標と最終年度）平成26年度に年間900人受講								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	出張講座受講者数は目標を達成したものの、実施回数は目標の6割にとどまりました。しかし、講座受講者からは概ね高い評価を得ており、消費者被害防止のための啓発方法として有効であると考えます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	若年者の消費者問題に詳しい専門講師を、市の講師謝礼基準に基づき派遣しており、経済的、効率的に運用しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
若年者に対する消費者啓発は消費者被害防止のために必要な施策であり、目標達成のため、講座の周知方法等を工夫し、関連部局や若年層への積極的な働きかけを行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	社会的ひきこもり対策事業						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		585	千円	980	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	精神保健福祉センター

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	さまざまな要因によって社会的な参加の場がせばまり、自宅以外での生活の場が長期にわたって失われているひきこもりの中でも、背景に精神疾患や発達障害がないとされる「社会的ひきこもり」の状態にある人たちが自立できるよう支援と体制づくりを目指します。				活動実績	活動計画のとおり実施しました。	
活動計画	社会的ひきこもり家族教室の開催（前期4回、後期4回） ひきこもりに関する市民向け講演会（「ひきこもりを考える集い」）の開催 ひきこもり支援実務者ネットワーク会議の開催（年3回程度）							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	家族教室の参加者数（延べ）		83 人	60 人	74 人	123.3 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	家族が正しい知識をもち精神的に安定することで、本人に対する効果的な対応を可能にし、家族同士が出会うことで支えあいの効果及び本人同士の出会いの場の提供を図ります。 （最終目標と最終年度）各年度延60人程度							
	ひきこもり支援実務者連絡会の参加人数（延べ）		74 人	60 人	74 人	123.3 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
医療、教育、保健、福祉、行政等の実務者のネットワークを構築することを目的に、会議を開催します。 （最終目標と最終年度）各年度延60人程度								

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定とおり活動でき、関係機関と連携を取りながら事業を進めることができたと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「ひきこもり地域支援センター」開設以降、連携を進めながら、より効率的に事業を進めることができていると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後も「ひきこもり地域支援センター」をはじめとする各関係機関との連携を進めながら、より効率的に事業を進めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	若年者就業促進事業						掲載ページ		
							121		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	産業経済局
		94,516	千円	94,020	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	雇用開発室

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	若者ワークプラザ北九州の運営により、概ね40歳までの若年求職者に対して、就職関連情報の提供、就業相談や職業能力向上のための講座・セミナー、希望や適性に合った職業紹介等を実施し、地元企業への就職を促進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	求職者と企業のミスマッチ解消のため、市、求人開拓員、カウンセラーでの連絡会議を定期的開催し、求職者のニーズに合う求人の獲得とマッチングに努めます。また、求職者情報（匿名）をまとめたリストを作成し、求人開拓員が企業に対して求職者をPRします。（また、セミナーの内容や開催頻度等の見直し、広報の充実について検討します。）						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	カウンセリング利用者数（延べ数）		11,190 人	12,400 人	11,688 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	専門のカウンセラーによる就業相談を行っており、多くの求職者に、きめ細かな支援を行う指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）13,500人 平成26年度				94.3 %		
	就職決定者数		1,049 人	1,100 人	1,049 人	順調	順調
若年者の就職支援の成果を表す指標として、若者ワークプラザ北九州（小倉）の利用者のうち、就職が決定した人数を指標に設定しました。 （最終目標と最終年度）1,100人 平成26年度		95.4 %			やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度の若者ワークプラザ北九州での就職決定者数は1,049名と、一定の効果は得られていません。また、求職者の意識や能力の向上の手段として、カウンセリングやセミナーは有効だと考えます。求職者と求人（企業側）とのミスマッチや若者ワークプラザ北九州の利用者が減少していることが成果目標に届かない原因の一つだと考えますので課題解決に向けて取り組んでいきたいと思います。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	事業費の中に占める大きな要素である人件費（カウンセラー・スタッフの人数）や、賃料等（利用者の利便性を考慮した設置場所）は適切だと考えます。職業紹介や講座などは民間でも実施されていますが、有料であるため必要な支援を受けられないケースがあります。求職者・地元企業に対して幅広く、きめ細かな支援が必要なため、市での実施が適切だと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
若年者にはスキル・経験の不足など、様々な就業への課題があり、未就職・失業状態が長期化すると更に就職が困難になるため、今後も継続して丁寧な就業相談を行い、希望や適性にあった職業紹介を実施していきます。また、若者ワークプラザの利用者増加のために継続的・効果的な広報を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	学卒者、離職者、在職者を対象とした職業訓練の実施に対する支援						掲載ページ		
							121		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	雇用開発室

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市内で実施される職業訓練について広く市民に知らせるとともに、職業訓練施設の受講生（訓練生）確保、利用促進を支援します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	必要に応じ市政だよりに掲載依頼を行います。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	市政だよりへの掲載		21 回	-	24 回	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調	
	市政だよりを活用し、職業訓練施設で行う講座などの周知を行います。紙面の都合により掲載が困難な場合もあり、目標は立てられません。 （最終目標と最終年度）						
						順調	
（最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
	「経済性」 「効率性」 の分析	市政だよりに掲載された講座等は、申込数の増加につながったとの評価を得ていることから、一定の成果があったものと判断しています。 市政だより掲載は無料であり、他の有料媒体への掲載と比べても広報の効果は大きいと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
引き続き、講座や職業訓練の周知のため、必要に応じて市政だより掲載依頼を行います。